

☆☆

「翻訳ひとくちメモ」—Vol.19— 「懸垂分詞」(Dangling Participle)

☆☆

センター試験も終わり巷<sup>ちまた</sup>では受験シーズンが<sup>たけなわ</sup>酣<sup>たけなわ</sup>となっておりますが、昨今、合格祈願の御守りとして「**タコ(蛸)の置き物**」が人気となっていることをご存知でしょうか。

これは「**タコ**」を意味する英語「**オクトパス(octopus)**」と「**置くとパス(=合格)**」とをかけた語呂合わせに由来するもので、2011年に広島県三原市の JR 三原駅に設置された「**オクトパスコーナー**」がその起源となっています。

[https://tabetainiya.com/archives/cat\\_3/post\\_1174/](https://tabetainiya.com/archives/cat_3/post_1174/)

(※広島ニュース・食ペタインジャーの記事(2014.1.11)より引用)

合格祈願は最近の話ですが、日本には古来よりタコについて「**蛸薬師**」と呼ばれる信仰が傳承されています。これは、タコが暗闇でも見える目を持つ生き物と言われるため**眼病と治す**とか、その吸盤によって**吹き出物**<sup>いぼ</sup>や**疔**を取り払う<sup>いぼ</sup>効能を持つとされる信仰をいいます。

一方で、英米では**タコは人の血を絞る悪魔**を連想させるためほとんど食用とされず、別名 **devilfish (= sea devil)** とも呼ばれて忌み嫌われています。こちらの起源はユダヤ教の戒律(旧約聖書の記述)に基づくようです。信仰の対象は国により様々です。

♪♪

前号では関係代名詞からテーマを選定しましたが、本号では分詞から「懸垂分詞」(Dangling Participle)について取り上げます。「懸垂分詞」は、別名「**ずっこけ分詞**」(「英文法解説」—p.347)とか「**ぶらさがり分詞**」とも呼ばれ、主節の主語と分詞の意味上の主語が一致していないにも拘わらず分詞の主語が省略された不安定な形で、一部の例外を除き文法的には誤りとされています。

1. 懸垂分詞の例とその解消法

(1) ケース 1 (Seeing)

Seeing from a distance, the roof top looked like a big onion. (×)

※主節の主語(the roof top) ≠ 分詞の意味上の主語(I)であるため懸垂分詞

↓

1) 原文を接続詞を使って書き換え

When I saw it from a distance, the roof top looked like a big onion.

↓

2) 従属節の主語が主節と一致するように書き換え

When it was seen from a distance, the roof top looked like a big onion.

↓

### 3) 分詞構文化

Seen from a distance, the roof top looked like a big onion. (○)

「遠くから見ると、その屋根の先端は大きなタマネギのように見えた」

#### (2) ケース 2(Using)

Using the application software, the financial statements were prepared. (×)

※主節の主語(the financial statements)≠分詞の意味上の主語(they)であるため懸垂分詞

↓

1) 主文を能動態にして分詞構文を使って書き換え

They prepared the financial statement using the application software. (○)

「そのアプリケーション・ソフトウェアを使って彼らは財務諸表を作成した」

↓

2) 前置詞句 by use of を使って書き換え

The financial statements were prepared by use of the application software. (○)

= They prepared the financial statements by use of the application software. (○)

「そのアプリケーション・ソフトウェアを使って彼らは財務諸表を作成した」

#### (3) ケース 3(Based on)

The test results were analyzed based on the mathematical formula. (×)

※主節の主語(the test results)≠分詞の意味上の主語(they)であるため懸垂分詞

↓

1) 主文を能動態にして分詞構文を使って書き換え

They analyzed the test results based on the mathematical formula. (○)

「その数式に基づき彼らは試験結果を分析した」

↓

2) 前置詞句 on the basis of を使って書き換え

The test results were analyzed on the basis of the mathematical formula. (○)

= They analyzed the test results on the basis of the mathematical formula. (○)

「その数式に基づき彼らは試験結果を分析した」

#### (4) ケース 4(Comparing)

Comparing with the previous data, the present value is in considerably good agreement with the theoretical value. (×)

※主節の主語(the present value)≠分詞の意味上の主語(we)であるため懸垂分詞

↓

1) 原文を接続詞を使って書き換え

When we compare it with the previous data, the present value is in considerably good agreement with the theoretical value.

↓

2) 従属節の主語が主節と一致するように書き換え

When it is compared with the previous data, the present value is in considerably good agreement with the theoretical value.

↓

3) 分詞構文化

Compared with the previous data, the present value is in considerably good agreement with the theoretical value. (○)

「以前のデータと比較すると、現在値は理論値にかなり良く合致している」

↓

4) 前置詞句 in comparison with を使って書き換え

In comparison with the previous data, the present value is in considerably good agreement with the theoretical value. (○)

「以前のデータと比較すると、現在値は理論値にかなり良く合致している」

2. 懸垂分詞が許されるケース

Generally speaking, Judging from, Talking of など「非人称独立分詞構文」(impersonal absolute participle construction)として慣用的に使われているものや considering, concerning, regarding など前置詞として定着しているものは、懸垂分詞といえども使用が許可されています。

(1) Generally speaking (= Speaking generally), the climate of Japan is mild.

「概して日本の気候は温和である」

(2) Judging from (by) what he says, he seems to be a man of ability.

「話しぶりから判断すると、どうやら彼は有能な男のようだ」

(3) Talking of (= Speaking of) weather, how is it in England this time of year?

「天気と言え、今ごろのイングランドの気候はどうですか」

(4) The calculation is conducted assuming [that there is] no friction.

「摩擦がないものと仮定して計算を行っています」

(5) Considering (that) she has no experience, she did quite well.

「未経験にしては、彼女はかなりよくやった」

(6) Regarding the specifications of this product, refer to the Exhibit 1.

「本製品の仕様については、添付書類 1 を参照のこと」

### 3. まとめ

懸垂分詞に関しては『コンテキスト(文脈)から切り離された単一の文としては確かに文法的には誤りであるが、コンテキストの中では十分に機能しており、英米の文学作品の中にも散見される』とか、『どこまでを慣用と看做して使用を許可するか』などの議論がありますが、我々のようにビジネス翻訳に携わる者としては、懸垂分詞のような不安定で疑義を生じさせる構文の使用は避けるべきだと考えます。

#### 参考文献:

「英文法解説」(江川泰一郎著/金子書房)

「表現英文法」(田中茂範著/コスモピア)

その他、ネット上に掲載されている懸垂分詞に関する記述など

☆☆

「翻訳ひとくちメモ」第 19 号 2018 年 1 月 23 日発行

発行元:

産機エンジニアリング株式会社 翻訳・通訳グループ 土中 健弘(文責)

〒804-0002 北九州市戸畑区大字中原 46-59

TEL: 093-871-5139/FAX: 093-872-5219

E-mail: [donaka@sankieng.co.jp](mailto:donaka@sankieng.co.jp)

URL: <http://www.sankieng.co.jp/>

☆☆

Copyright © 2018 SANKI ENGINEERING CORPORATION All Rights Reserved.